

指導者 T 1  
T 2  
T 3  
A L T

1 単元 Speaking 4 道案内

2 単元の見どころ

- (1) 道案内の場面での言語活動に積極的に取り組もうとする  
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- (2) 道案内の場面で、必要な事柄を正しく伝えることができる。(外国語表現の能力)
- (3) 道案内での会話や質問を聞いて理解することができる。(外国語理解の能力)
- (4) 道案内において使用する語彙や表現を理解し、運用している。  
(言語や文化についての知識・理解)

3 指導にあたって

(1) 生徒の実態（男子\*名，女子\*名，計\*名）

2学期に「話す活動」のパフォーマンステストを行った。本学級生徒の話す活動(到達率については、A評価はオリジナリティーのあるスキットを暗記し、積極的に活動した生徒、B評価はスキットをペアで作成し、ワークシートを見ながら発表できた生徒、C評価はスキットは教科書のものを利用し、ワークシートを見ながら発表した生徒)と話す活動に関する意識調査の結果は以下の通りである。(平成\*年\*月\*実施 \*人)

パフォーマンステストの結果	A *人	B *人	C *人	未実施 *人
英語を話す活動が好きである。	そう思う *人	まあまあ思う *人	あまり思わない *人	思わない *人
ペア活動が好きである。	そう思う *人	まあまあ思う *人	あまり思わない *人	思わない *人

本学級の多くの生徒は、英語の授業に集中して取り組んでいる。特に、フラッシュカードを用いた新出単語の発音練習や、新出表現を用いた言語活動に楽しく取り組むことができる。しかし、自分の考えを英語で伝えるなど、即興で発問に答える活動では、なかなか答えが出せず、集中して取り組めない生徒がいる。一方では、実際に英語は不得意ではあるが、ペア活動を通して英語の授業に積極的に取り組んでいる生徒も多い。

(2) 教材観

本題材は、道案内の対話を通じてTurn rightやGo straight など相手に進むべき方向を指示するなど、道案内の場面に応じた対応が必要とされる。生徒はこれまでに、「tell+人+もの」の表現を学習しており、道順を尋ねる際には、その表現を用いている。現実的には、本校生徒が街中で外国人に道順を尋ねられる機会は少なく、使う場面は限られている。しかし、友人に知らない場所を教えたり、教えられたりすることは日常良く起こり得る。従って、道案内の表現は、生徒にとって興味を引く題材であると言える。

(3) 指導観

まず、パフォーマンステストの内容をレベル・習熟度別に用意することで、どんな生徒でも達成感や充実感を味わえるようにしていく。次に、何度も挑戦できるようにすることで、身に付けさせたい表現を繰り返し練習して、生徒の自信へつなげていきたい。そして、コミュニケーション活動では意図的編成ペアを用いることで英語が苦手な生徒でもパートナーの助けを借りて課題を達成させたい。さらに、グループ活動では、対話形式に文の並び替えを行うことで、新出言語材料の定着を図っていく。

4 指導計画（3時間扱い）

時	学習活動	関	表	理	知	評価計画
						評価規準
①	道案内の対話を正しく音読し、内容を理解する。	○		◎		道案内の対話を正しく音読し、内容を理解することができる。(観察, My plan)
②	道案内の場面で、必要な事柄を正しく伝える。		◎		○	道案内の場面で、必要な事柄を正しく伝えることができる。(観察, ワークシート)
③ 本時	道案内の場面で、相手を目的地まで正しく案内する。	○	◎			道案内の場面で、相手を目的地まで正しく案内することができる。 (パフォーマンステスト, ワークシート)

5 本時の指導

(1) 目標

- ・道案内の場面での言語活動に積極的に取り組もうとする。  
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ・道案内の場面、相手を目的地まで正しく案内することができる。  
(外国語表現の能力)

(2) 準備・資料

My plan(自作補助教材), TV, PC, デジタル教科書, 学習カルテ, ワークシート

(3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点(○は個への配慮)と評価
<p>1 あいさつをする。</p> <p>2 前時の復習 (1) 既出単語の復習をする。 could, tell, straight, turn, left, light, find, glad (2) 既出表現の復習をする</p> <p>3 本時の学習 <b>友達に道案内をしよう</b> (1) T1とALTのデモンストレーションを見る。 (2) T1, 2, T3, T4の前でパフォーマンステストを受ける。 ① 教室全体を地図と見なし、それぞれの机の上には建物の看板を取り付ける。4カ所にいるT1, T2, T3, T4のところで行う。 ② レベル1は1ポイント, 2は2ポイント, 得ることが出来る。時間が許す限り, 何度も挑戦できる。5ポイント以上がA, 4ポイント以上がB, 4ポイント未満がC評価となる。 ③ 行動を表す指示が1つの場合はレベル1, 2つ以上の場合レベル2となる。 例1 S1:Could you tell me the way to the station? S2:Go straight and you can find it on your left. (1Pt.) S2:Go straight and turn right at the second light. You can find it on your left. (2Pt.) ④ 片方は旅行者となり質問をした後, 実際に道を歩く。もう片方は英語で道案内をするルールとし, テスト時は交代で役割分担をさせる。 (3) グループ活動の形態に変え, 穴埋め問題に取り組む(ワークシート) 例文 A: Could you tell me the way to the Post office? B: OK. (一部省略)</p> <p>3 本時のまとめをする。 (1) 並び替えの答え合わせを行う。 (2) 学習カルテを記入し, 本時の学習を振り返る。</p>	<p>・英語であいさつをし, 学習の雰囲気を作る。</p> <p>・フラッシュカードに視線を集中するよう声かけをして, 注意を促す。 ○生徒の集中力を高めるために, リズミカルかつスピーディーに行う。 ・生徒の関心を高めるために, 復習においてICT, デジタル教科書を活用する。</p> <p>・生徒が活動をイメージできるように, T1とALTでデモンストレーションを行う。 ・事前に評価基準を明示しておくことで, 生徒の意欲を高める。</p> <p>・生徒が何度も挑戦できるように, T1, T2, T3 ALTがそれぞれ教室の角に立ってテストを行う。</p> <p>○英語が比較的苦手な生徒でも, 課題を達成できる喜びを味わわせるために, パートナーのアドバイスをもらってもよいと助言する。</p> <p>○英語の苦手な生徒には, テスト中も励まし, 良かったところを称賛するとともに, 次の課題を伝える。 ・テスト終了後, パフォーマンスの良かったペアを指名し, 発表させた後に拍手で称賛することで自信をつけさせる。</p> <div data-bbox="775 1458 1414 1547" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(評) 道案内の場面、相手を目的地まで正しく案内することができる。 (観察, パフォーマンステスト)</p> </div> <div data-bbox="775 1576 1414 1666" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(評) 道案内の場面での言語活動に積極的に取り組もうとする。 (観察, ワークシート)</p> </div> <p>・学習を円滑に進めるために, グループ活動の形態に変える。 ○英語が苦手な生徒を中心に, T2は1列目, T3は2列目, ALTは3列目の班にアドバイスをすることで支援する。</p> <p>・課題を積極的に行っている生徒やグループを賞賛することで, 自信と学習意欲を高める。 ・意欲ある取り組みを認めて積極的に称賛する。</p>